

就職活動生の「3人に1人」が、100社を超える企業に応募。
 実際に選考を受けた社数は「30社以下」で、“応募”と“選考参加”に乖離が存在。

～株式会社ヒューマネージ、2011年卒の就職活動生に実施したアンケート調査の結果を発表～

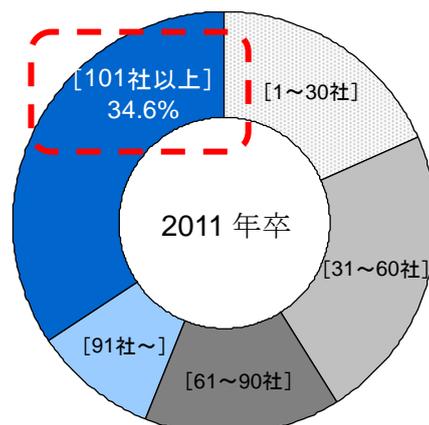
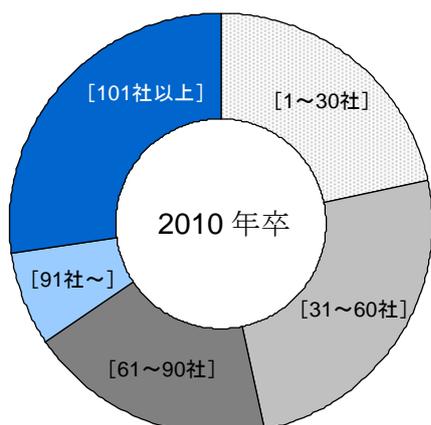
人的資本経営 (Human Capital Management) の哲学に基づく人材サービス事業を展開する株式会社ヒューマネージ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:齋藤 亮三、以下ヒューマネージ)は、7月に実施した、就職活動生アンケート(対象:2011年3月卒業予定)の結果を発表した。

危機感にかられて、3人に1人が「101社以上」に応募するも、
 選考を受けたのは「30社以下」。
 採用する企業側は、“応募”者を“選考参加”へつなげる工夫が必要。

2011年3月卒業予定の就職活動生に、「応募した社数」(=総合就職情報サイトなどから、企業へ、個人情報を登録した社数)を訊ねたところ、34.6%が「101社以上」と回答。就職活動生の約3人に1人が、100社を超える企業に応募したことがわかった。

その割合は、同じく就職環境が厳しいといわれていた昨年と比べても、統計的に有意に増加しており、今年の就職活動生の危機感の強さが窺える結果となった。

[応募した社数]	2010年卒 (昨年の就職活動生)	2011年卒 (今年の就職活動生)	昨年比
1～30社	21.5%	18.3%	-3.3ポイント
31社～60社	25.3%	22.9%	-2.3ポイント
61社～90社	18.9%	15.0%	-3.9ポイント
91社～	34.3%	43.9%	+9.5ポイント
「101社以上」と回答した割合	27.3%	34.6%	+7.3ポイント



一方、「選考を受けた社数」を訊ねたところ、「30社以下」と回答した学生が6割を占め、“応募した社数”と“選考を受けた社数”に乖離がみられた。危機感にかられて多数の企業—3人に1人は100社を超えるほど多い—に応募したものの、そのほとんどが“応募しただけ”だったことがわかる。

[選考を受けた社数]	2011年卒 (今年の就職活動生)
1～10社	14.3%
11～20社	19.3%
21～30社	24.9%
31～40社	15.9%
41～50社	11.3%
51社以上	14.3%

} 58.5%が「30社以下」と回答

弊社の考察

同時期に行ったインタビュー調査でも、「300社に応募したが、実際に選考を受けたのは30社くらい」などと話す学生は珍しくありませんでした。一年上の先輩が苦勞している姿を見て、あるいはマスコミによる報道の影響で、就職活動生の危機感は想像以上に強く、“手当たり次第”ともいえる応募につながったようです。

一方、「応募人数が多すぎて、選考の方法を変えざるをえない」「応募人数は昨年の2倍なのに、選考に参加した人数は、昨年より少なくなってしまった」など、今年は、学生の動きに企業が振り回された感もあります。

以前は、企業は、応募してきた学生を選考するだけでよかったのですが、これほど“応募”と“選考参加”に乖離がある現在、「応募した学生をいかに引きつけ、選考参加につなげるか」という、リテンション(Retention)のための取り組みが求められるといえます。

調査概要

	2010年卒(昨年の就職活動生)	2011年卒(今年の就職活動生)
内容	就職活動に関するアンケート	
実施期間	2009年8月5～6日	2010年7月13～14日
調査対象	2010年3月卒予定の就職活動生	2011年3月卒予定の就職活動生
有効回答数	297名 文系 187名 理系 110名 男性 192名 女性 105名	301名 文系 200名 理系 101名 男性 200名 女性 101名
調査方法	Web上のアンケートフォームより入力	

ご参考資料(本アンケート調査結果より)

2社以上、内定を得ている学生の割合が「低下」。 就職活動の成果に対する満足度も、低下傾向。

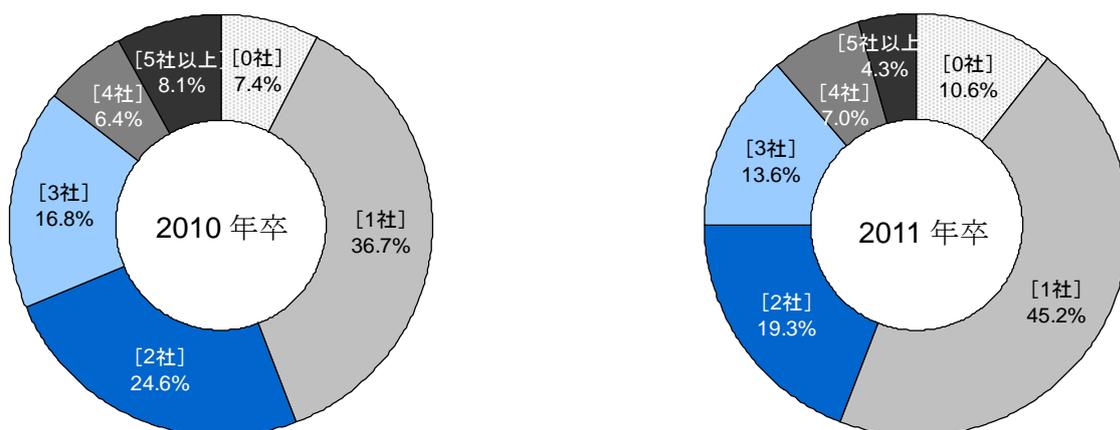
調査実施時点の内定社数を訊ねたところ、2社以上内定を得ている学生の割合が低下していた。

(2010年卒:55.9% → 2011年卒:44.2%)

背景には、「採用人数を抑制しているから」という企業側の要因だけでなく、学生側の「1社内定が出たら、すぐに就職活動を終了する」傾向が強まっていることも挙げられる。

就職活動生へのインタビュー調査でも、「“氷河期”のご時勢で、内定を出してくれた企業は逃したくなかった。『別の企業の選考が終わるまで待ってください』と言えるだけの心理的余裕がなく、すぐに内定を受諾した」、「早くから就職活動を始めたのに、なかなか結果が出なくて辛かった。1社内定が出たら、それ以上就職活動を続ける気力がなかった」といったコメントが得られた。

[内定を得た社数]



あわせて、就職活動の成果に対する満足度を訊ねたところ、「非常に満足している」「ある程度満足している」とする学生が減少する一方、「まったく満足していない」学生が増加。就職環境の厳しさが、学生の満足度にも影響していることが窺える。

[就職活動の成果に対する満足度]

	2010年卒 (昨年の就職活動生)	2011年卒 (今年の就職活動生)	昨年比
非常に満足している	34.0%	32.2%	-1.8ポイント
ある程度満足している	43.4%	39.9%	-3.6ポイント
どちらともいえない	11.1%	12.0%	+0.8ポイント
あまり満足していない	6.1%	6.0%	-0.1ポイント
まったく満足していない	5.4%	10.0%	+4.6ポイント

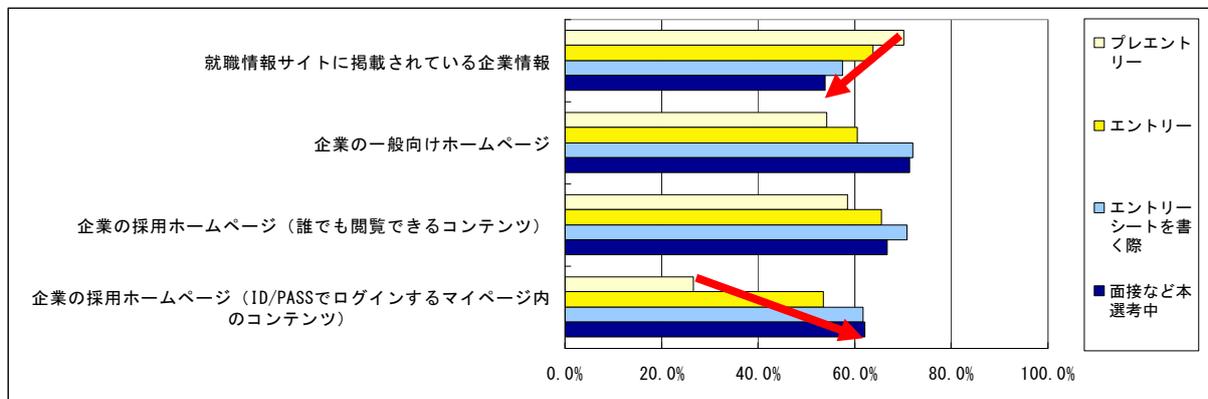
就職活動が進むにつれ、 マイページからの情報収集が重要に。

下のグラフは、就職活動の局面において、参考にした情報源を訊ねたものである。

就職情報サイトに掲載されている企業情報は、プレエントリー時に最も参考にされ、以後、下降線を辿っているのに対し、マイページ(ID/PASSWORD でログインする採用サイト)は、就職活動が進むにつれ、参考にされる度合いが強まっていることがわかる。

現在、学生の理解促進、リテンション施策を採用活動の課題としている企業も多いが、この結果から、就職活動が進むにつれ、マイページを通じた施策が有効であると考えられる。

[各々の局面で、参考にしたもの(複数回答)]



本件に関するお問い合わせ

株式会社ヒューマネージ

HCM 事業本部 広報室 担当:山口(やまぐち)

e-mail : info@humanage.co.jp

tel : 03-3548-7170 fax : 03-3548-7180

株式会社ヒューマネージについて

社名 : 株式会社ヒューマネージ

本社所在地 : 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 4 階

tel : 03-3548-7170(代表)

fax : 03-3548-7180

創業 : 1988 年 11 月 10 日

設立 : 2004 年 12 月 1 日

資本金 : 50 百万円

代表取締役社長 : 齋藤 亮三(さいとう りょうぞう)

社員数 : 70 名

事業所 : 東京本社、大阪支社

主要事業 : ①採用ソリューション事業

②適性アセスメント事業

③EAP(Employee Assistance Program=従業員支援プログラム)事業

取引先 : 金融、通信、エレクトロニクス、電気、機械、化学、医薬、食品、住宅、出版、サービス、運輸、電力分野などの大手企業を中心に約 1,900 社

加盟団体 : 産業・組織心理学会、日本 EAP 協会、日本産業ストレス学会、日本産業衛生学会、日本人事テスト事業者懇談会

資格 : IT サービスマネジメントの国際規格 ISO20000

(ISO/IEC20000-1:2005=JIS Q 20000-1:2007) 認証取得

財団法人 日本情報処理開発協会認定プライバシーマーク認証取得[第 10861222(02)号]

以上